



ADRC Highlights

Vol.94

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

June 1, 2004

➤ 2003年度ADRCメンバー国共同プロジェクト

□ モンゴル国都市地震防災セミナー

2004年3月20～23日、モンゴルの首都ウランバートル市にて、ADRC・モンゴル政府共同プロジェクト「都市地震災害の脆弱性及び危険度評価と防災対策セミナー」を、同国政府自然環境省、国家災害管理庁とADRCとの共催で実施しました。

モンゴルは、ユーラシア大陸の中央部に位置し、マグニチュード8級の内陸型地震が20世紀中だけでも4回発生しました。人口密度の低さと遊牧民の伝統的住居（「ゲル」と呼ばれるテント）構造が幸いして、今のところ地震による被害で大きいものはありません。しかし、アジアの他の都市と同様、首都ウランバートルでも、（遊牧から定住化への移行などの）生活様式の変化、急激な人口増加と都市化・工業化が進んでいることから、都市地震防災の推進の必要性が高まってきています。今回のセミナーは、そのような背景から、モンゴルの防災行政担当者向けに開催されたものです。



セミナーは、同じ内容のものが、前半と後半の2日間ずつに分けて行われました。前半は、モンゴル中央政府の局長、地方県知事など意思決定者レベル、後半は主に実務担当者レベルから参加があり、合計で60名を超える受講者を数えました。

モンゴル側の講師陣は、国家災害管理庁、インフラ整備担当省、モンゴル天文・地球物理研究センター、モンゴル土木工学協会、モンゴル科学技術大学から招聘され、各々モンゴルの地震の特徴と地震対策の現状について講義を行いました。日本側からも大矢暁氏（世界地震安全推進機構（WSSI）理事）、林康裕氏（京都大学防災研究所助教授）、ADRC主任研究員の羽鳥友彦の3名が講師として招聘され、地震マイクロゾーンネーション、耐震建築と都市計画、阪神大震災の経験とモンゴルへの応用等について、それぞれ講義を行い、受講者は日本の地震防災について理解を深めるとともに、質疑応答の時間では活発に議論が交わされました。

現在、今後のモンゴルにおける地震防災対策の進め方について、当セミナー参加者によるモンゴル政府への提言を取りまとめ中です。この件に関する問合せは当センター主任研究員の羽鳥（hatori@adrc.or.jp）までお願いします。

➤ ADRC 客員研究員の紹介

□ ラフモフ・シュフロブショー研究員（タジキスタン）

私は、2001年からタジキスタン共和国の緊急事態省に、コンピュータ主任管理者として勤務しています。本来の業務は、災害状況に関する情報の収集や、国の災害状況データベースを作成することです。

タジキスタン共和国非常事態省は1998年に設立されました。非常事態省では、タジキスタンにおける自然災害発生や動乱など非常事態の際の自国民と国土を保護する政策決定権を有し、またそうした非常事態の事前予防や国家活動の調整を行います。同省はまた、非常時には「救援センター」として機能し、捜索救助活動を行うため、市民防衛軍の機能をもち必要な設備機器や技術を備えています。



タジキスタンの国土面積の93%は山岳地帯で、山岳氷河は川の水源となっている一方で、その地理的条件により、地震や洪水の被害を受けやすい国となっています。とりわけ、1911年のサレ地震では、大規模な落石が発生し、ウソイ村をのみ込み、タジキスタンほかウズベキスタン、トルクメニスタン、アフガニスタンの計4カ国にわたり500万人に多大な影響を及ぼしました。

ADRCの客員研究員として来日して5ヶ月がすぎ、今月上旬で帰国しますが、これまでJICAの防災行政管理者セミナーに参加させていただき、また日本にある主要な防災関連の事務所や施設を訪問させていただきました。日本滞在中は、防災に関する情報を多く収集できたと思っています。

本国に帰国した後は、地震や洪水、地滑り、緊急援助をテーマにした防災セミナーを開催し、災害関連のデータブックや災害による人的被害をどう抑えるかというようなハウツー本作りに携わっていきたいと思います。

➤ アジア最新災害情報:ミャンマーの暴風と洪水

2004年5月19日にベンガル湾上で発生した嵐が、バングラデシュとの国境に近いミャンマー南西海岸地域を通過し、風速160kmの暴風により、Rakhine州のPauktaw, Myebon, Sittway, Kyaukpyuの4町で高波や洪水を引き起こした。これにより、少なくとも140人が死亡、1万8千人が家を失いました。（2004年5月27日付OCHAレポートより）

ご意見・ご要望等があれば右記までご連絡ください。

編集・発行：Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

E-mail: editor@adrc.or.jp

TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行（予定）